



Q1 会社の強みは何ですか？

A1 入口から出口までのワンストップサービスです。小回りの利く提案力を武器に、お客様が望むものを提供していきます。

Q2 カラーマネジメントシステム導入のメリットは？

A2 色校正と本刷の色調を同じレベルで再現でき、納品スピードも速いことです。今回の事業で色にシビアな顧客の新規獲得を目指します。

代表取締役
庄子 顕志 氏

《 信条 》
予習・復習・練習の3習、
段取り8割、実行2割の実践



FILE.10

高品質な印刷で提案力に磨きをかける

エンドユーザー視点の 営業を幅広く展開

株式会社仙台紙工印刷は、グラフィックデザイン及び各種媒体のデザイン・企画制作や、各種商業印刷物の印刷をはじめ、出版物の企画・立案・制作、広告宣伝の代理業及び販売、インターネット情報処理サービスなどを幅広く手掛けている。

「当社では印刷のデジタル化に伴い、広告代理店やデザイン会社を中心とした受注体制から、エンドユーザーに重きを置いた営業戦略に転換しました。お客様と真剣に向き合う「クラフトマンシップ」をモットーに掲げ、ワンストップサービスを提供しています」。

こう語るの代表取締役の庄子顕志氏。印刷業は製造業でありサービス業でもあると捉え、同社は提案型の事業展開で業績を伸ばしてきた。

短納期ニーズに応えるため 技術面から時間管理に迫る

同社では、高品質かつ短納期で印刷物を提供していくため、制作工程全体を見直し、その中でも多くの時間を要していた色調整と印刷物の乾燥に着目。モニターやプリンター、印刷機などのデバイス間の色を総合的に管理するカラーマネジメントシステムを融合した速乾印刷技術の確立を目指した。そこで、データ制作と色校正の工程間にお



ける再作業を減らし、速乾印刷に最適な印刷物の供給を行うCTP機（印刷版出力機）を導入した。

色調再現品質と速乾印刷で 大幅に納期を短縮

これに伴い、カラープルーフやオンデマンド印刷機、CTP機の出力機にそれぞれ付属していたRIPと呼ばれる印刷用データ変換ソフトをワンソース化し、校正紙と印刷本紙の色調を同じように再現できる体制を構築。また、工場内の温度と



株式会社仙台紙工印刷

代表取締役 / 庄子 顕志

所在地 / 宮城県仙台市宮城野区苦竹3-1-14

T E L / 022-231-2245

【28年度補正】
カラーマネジメントシステムを融合した
速乾印刷技術の確立による競争力強化



いく。「そこには提案力の強化が不可欠。技術向上に併せ、人材育成にも力を入れていきます」と語る庄子氏。技術力向上の次にはさらなる営業力の強化を見据えている。